

第5回ニュース作文コンクール 小学生の部
最優秀賞 青山快さん(小6) セルモ目黒本部教室

選んだ記事：朝日小学生新聞 2017年7月21日1面

タイトル：災害に備える

福岡県朝倉市で、大雨による土砂崩れが起き、たくさんの方が亡くなった。その記事には、事前に避難場所を確認し、防災グッズの準備をしておくことが大切だと書いてあった。

僕はまず、家にあった防災マップを見て、避難する場所を確認した。そして、自分の周辺にある危険な場所を調べ、どの経路で避難所に行くのが安全か考えた。こうすることで、いつ災害が起きても、すぐに避難所へ移動できる。テレビやラジオで警報が出たときは、早めの移動をすることが大切なのだ。

次に、防災グッズの確認をした。懐中電灯の電池が切れていないか、非常食の賞味期限が切れていないか一つひとつ調べた。

このような事前の準備をしておけば、たくさんの方が亡くなるようなことは防げると思う。すべての人が日頃から災害に対する備えをきちんと行ってほしい。そして、次の同じような災害が起きたとしても、大きな被害がもたらされることのないように願っている。

大雨 対策 早めの行動、避難所を確認

今月上旬に福岡県と大分県を中心とする九州北部で発生した豪雨災害は、死者34人、不明者7人、(2)日正午現在、大きな被害をもたらしました。その後各地で大雨が続き、これらの季節は台風も心配されます。大雨の危険性や備えを、防災科学技術研究所(茨城県つくば市)の三隅良平さんに聞きました。(近藤理恵)

日ごろから、水たまり注意

5日から発生した九州北部の大雨では、「重大」福岡県や大分県の一部で災害が発生する危険性。大雨特別警報が出されま



黒い雲が近づいたら屋内へ避難



ひざ上の水位は高い確率で流される



早めの避難



まちの過去の災害を調べる



安全な経路をはあくしておく



アンダーパスがあるからこの道は危険

「特別警報」に厳し、気象庁が発表する「警報」や「注意報」のほか、各自液体が発泡する「避難指示」や「避難勧告」が出されたら、早めの避難などの行動が求められます。

三隅さんは「川の上下游で大雨が降っている場合、下流付近はあまりをたがず「特別警報」に厳し、気象庁が発表する「警報」や「注意報」のほか、各自液体が発泡する「避難指示」や「避難勧告」が出されたら、早めの避難などの行動が求められます。」

「災害想定」「過去」から学ぶ

災害を想定するとき、ヒントになるのが過去の災害です。「何十年、何百年前に同じような災害が起きたときにはげられ



大雨被害のあった福岡県朝倉市。道路が土砂に寸断されたようす＝6日

米トランプ政権、半年州や都市で独自の動きも

アメリカ(米)の大統領トランプが就任してから、20日半年をむかえました。支持率は36%にとどまっています。州単位で、トランプ政権でかかげた公約のうち、環太平洋経済連携協定(TPP)からの撤退や、地球温暖化対策の国際ルール「パリ協定」からめぐることを表明す

川の近くの道やアンダーパスと呼ばれる、くぐりぬけ式道路はさけてください。一車道アンダーパスに入って、出られなくなる事故もあります。避難所の場所がけで、どの経路で行けば安全かも事前に確かめて、「三隅さん、家の周りでも、日ごろから、強く雨が降ったときに水がたまりやすいところを見ておく」と、危険な場所を知ることができそうです。

が発生している場合もあります。地域の防災計画や図書館でまちの歴史を調べることができず、「参考にしてください」

急な大雨では、雷が発生することもあります。広いグラウンドにいた場合、蓋をするおそれもあります。ゴロゴロと雷鳴が聞こえて、黒い雲が近づくと安全な建物の中に入ってください。木は雷が落ちる可能性が高いので、木の下での雨宿りは危険です。

るなど、大統領の権限で決められる政策は実行しました。一方で、メキシコとの国境にカベを建設するなどの大膽な減税などは実現できていません。

カリフォルニア州で温暖化対策が成立したほか、トランプ大統領が好まない多国間貿易についても、カナダが金米の州と個別に話し合うなど、州や都市で独自の動きが広がっています。

第5回ニュース作文コンクール 中学生の部
最優秀賞 佐藤美彩希さん(中3) 学習舎

選んだ記事：朝日中高生新聞 2017年7月23日号5面
タイトル：見たこと、知ったこと、忘れないこと

私が今日食べたマグロの夕食はマグロの刺身だった。そのマグロは祖母が行った旅行の土産で、静岡県焼津港水揚ミナミマグロだった。その時脳裏に浮かんだのは、63年前の1954年3月1日にアメリカの水爆実験に巻き込まれ、被爆した第五福竜丸だった。

私は、第五福竜丸の事件をもとに作曲した「ラッキードラゴン～第五福竜丸～」をマーチングバンド全国大会の出場曲として演奏したことがある。事件を教科書でしか知らなかった私は、東京都江東区による都立第五福竜丸展示館に行った。そこには様々な資料があり、乗組員23人は全員被爆した。その頃被害を受けた漁船は他にもあるというが、健康被害は不明な点が多いという。その後、ゴミの島(夢の島)に放置された第五福竜丸は、市民の保存運動で1976年6月現在の地に展示・公開されたのだ。黒ずんだ白っぽい木造の船からは、言いようのない悔しさが漂っているようだった。アメリカがマーシャル島ビキニ環礁に落とした水爆の名は「ブラボー」。第五福竜丸の浴びた死の灰が平和のトーチになった。とても皮肉なことだと思う。

第二次世界大戦が終わって国連ができたが、紛争やテロという「いくさ」は何も無くなっていない。人類、全生物、さらに地球全体も壊滅するような原水爆の危険性をもっと世界に知らせるべきだと思う。今、北朝鮮のミサイル問題があるように、忘れた頃にまた恐ろしいことはやってくる。忘れてはならない。起こしてはならない。日本は唯一の被爆国であり、二度と戦争をしないと宣言している永遠の敗戦国だから、世界に向けて原水爆禁止を訴えるべきだ。まだ選挙権もなく、知識が浅い私に今できることは、展示館で買ったしおりに書いてあった、第五福竜丸の船長、久保愛吉さんが残した言葉を忘れないでいることだ。「原水爆の犠牲者は、わたしを最後にしてほしい」

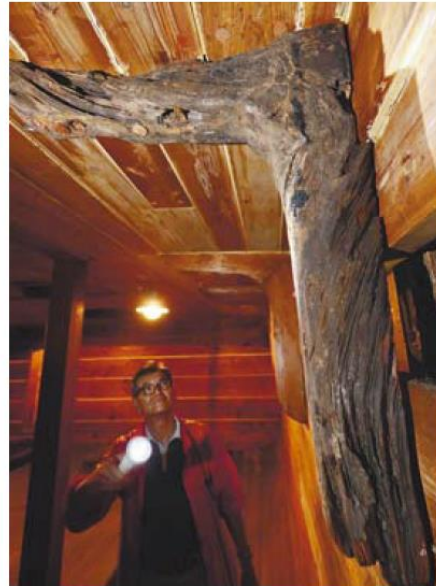
13
THU

第五福竜丸の内部を撮影 水爆実験に遭遇 3度改修



63年前、太平洋のビキニ環礁^{かんしょう}で米国の水爆実験に遭遇した静岡県焼津市のマグロはえ縄漁船・第五福竜丸^{ふくりゅうまる}の内部を、朝日新聞社が特別な許可を得て、撮影した。

船内は、くち果てて黒っぽくなっていたり、くぎが飛び出したりしている部分もある＝写真。船は1947年に造られ、改造と改修を3度行った。船は現在、東京都江東区の夢の島公園にある第五福竜丸展示館にある。老朽化しており、保存のために見



©朝日新聞社

学者には公開されていない。

Keyword



第五福竜丸

かつて静岡県の焼津港の遠洋マグロ漁船だった船。1954年3月1日、ビキニ環礁^{びきん}周辺で操業中に米国の水爆実験に巻き込まれ、乗組員23人が被曝^{ひばく}。半年後に無線長の久保山^{くぼやま}愛吉^{あいきち}さんが亡くなった。「ビキニ事件」「第五福竜丸事件」と呼ばれ、広島、長崎への原爆投下に次いで原水爆禁止運動の原点になった。